

UP52N-50S-QED-D0

最大50 Wまでのレーザー出力測定用サーマルディテクタ。



プロダクトファミリーの主な特長

モジュール概念

お使いのディテクタのパワー能力を増加: 4つの異なる冷却モジュール

高い最大出力の拡散アブソーバー

高エネルギー密度のパルスビームに最適

コンパクトデザイン

厚さ32 mm

高平均出力

連続出力最大50 Wまで測定。

スマートインターフェース

すべての校正データを収容

数々の賞に輝いたテクノロジー

超高密度レーザー用UP-QEDレーザーパワーディテクタは、2021 Laser Focus World Innovators Awardsの最も革新的なフォトニクス技術部門において、金賞を獲得しました。



互換性のあるスタンド

STAND-S-443

仕様

測定性能

最大平均出力 (連続)	50 W
最大平均出力 (1分)	50 W
ノイズ等価出力 ¹	15 mW
スペクトル領域 ²	0.266 - 2.5 μm
標準上昇時間 ³	4 s
出力校正不確か率 ⁴	$\pm 2.5\%$
繰り返し性	$\pm 0.5\%$

1. 公称値。実際値は測定システムの電氣的ノイズに応じて異なります。
2. 校正済みスペクトル域については、ユーザーマニュアルを参照してください。
3. 予測付。
4. 出力による線形性を含む。

測定性能 (エネルギーモード)

最大測定可能エネルギー ¹	1000 J
ノイズ等価エネルギー ²	0.25 J
最小繰り返し期間	9 s
最大パルス幅	371 ms
エネルギー校正不確か率 ³	$\pm 5\%$

1. 360 μs パルス用。長パルス (ms) により高いパルスエネルギー、短パルス (ns) により低いパルスエネルギーが可能。
2. 公称値。実際値は測定システムの電氣的ノイズに応じて異なります。
3. 単発エネルギー校正をお求めの場合

損傷閾値

最大平均出力密度 ¹	100 kW/cm ²
最大エネルギー密度 ²	8 J/cm ²
1. 1064 nmで、10 W CW。May vary with wavelength and average power. 2. 1064 nmで、7 ns、10 Hz。May vary with wavelength and pulse width.	
物理的特徴	
冷却	対流
開口直径	52 mm
吸収材	QED
寸法	89H x 89W x 32D mm
重量	0.62 kg
注文情報	
UP52N-50S-QED-D0	203880
UP52N-50S-QED-IDR-D0	205202
UP52N-50S-QED-INT-D0	205195
UP52N-50S-QED-BLU-D0	TBD

仕様は予告なく変更される場合があります。仕様の全容については、ユーザーマニュアルを参照してください。

本製品にご興味をお持ちですか？

見積をリクエスト

gentec-eo.com/ja/contact-usで最寄りのセールス担当者をお探してください